

放射能を考える佐久地区連絡会ニュー

事務局：佐久市岩村田 543 t/f 0267-67-3595 Email sakuch06@yahoo.co.jp
新聞用 URL <http://housyanousaku.web.fc2.com/top.htm> ←広げてください

4月25日フジコーポ処分場、県が「廃止」許可

長野県は、埋め立て完了に伴う閉鎖からわずか1ヶ月で最終処分場としての**管理責任がなくなる「廃止」**措置を行なった。通常の最終処分場の場合「廃止」措置は、最低でも閉鎖から2年後としている。

4月26日処分場現地調査見学会→下記 保田弁護士寄稿文を参照ください。

6月19日県環境課へ申し入れ

1、「廃止」を許可した経緯説明 2、ため池の底質検査 3、湧玉用水の水質検査

【裁判】10月9日(木) 傍聴あります。応援よろしくお願ひします。

■ **イーステージ裁判・証人尋問(被告本人)** 午後1時15分(約1時間~1時間半) 上田地裁

■ **保田弁護士を交えての裁判経過説明会** 裁判が終了次第移動 上田市勤労者福祉センター

反撃の大きな手段

弁護士 保田 行雄

4月26日の現地調査会は、多くの参加者が集まり大成功でした。今回の訴訟で、イーステージが名誉棄損と主張しているのは、ツイッターの「ほぼ漏洩確定」の記述です。最終処分場内の水(浸出水)が、外部に漏洩しているのではないかと発信したことで、名誉が毀損されたと主張しているのです。そして、フジコーポレーションが、イーステージの二の舞になるのではと、ブログ等の記述等を名誉棄損として訴えてきたのです。



コンクリート壁のひび割れ

このように、イーステージ第2処分場の漏洩の有無が、2つの裁判の核心となっています。彼らは、県が漏洩と断定していないのだから、県の水質調査のみで漏洩とすることはできないはずだと主張したいのです。

しかし、今回の現地調査で、第2処分場の無残な姿が明らかになりました。多数の亀裂、そこからの染み、外部から見ただけで「ほぼ漏洩確定」！傾いて崩壊しかけた外壁、漏洩どころか崩壊の危険性すらあることが明らかになりました。実際に、処分場が崩壊した例もあります。

また、フジコーポレーションの「最新鋭」の外壁に多数のクラックがあり、修復の跡が多数あったことは驚きでした。第2処分場と同じ途をたどるのではないかとこの危惧は、決して杞憂ではなかったのです。

このような処分場に、半減期の長い放射性物質を含んだ焼却灰などを埋立たことは驚きでした。

この現地調査会の成果を生かして、訴訟の場で反撃していきたいと思ひます。

支援のお願い みなさまのご協力をお待ちしています。

カンパ振り込み先

- 郵便口座
番号：00580-7-85355
名称：放射能を考える会
- 他行からの振り込み
店番：〇五九
当座口座 番号：0085355

